

いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト

Global Citizens Forum on Water and Watershed for SDGs

地域対話フォーラム① 2023年2月23日（祝）活動発表

愛・地球博記念公園 地球市民交流センター

国連地域開発センターの活動 ～水と災害に焦点を当てて～



国際連合地域開発センター（UNCRD）

United Nations Centre for Regional Development

研究員 泉川雅子

国際連合地域開発センター（UNCRD）について

伝統ある国連事務局の直轄組織であり、中部地方にオフィスをもつ唯一の国連組織として、約50年途上国の開発に貢献し、研究・研修を通じて、ハイレベル人材を輩出

■ 設立の概要

- 開発途上国の「地域開発」を通して開発に貢献するために研究・研修を行う組織として、国連と日本政府との協定により1971年に愛知県名古屋市に設立

■ 目的

- 研 修：開発途上国の行政官を対象に地域開発に関する研修を実施。
- 調査研究：地域開発をめぐる諸問題をテーマに、研修用の教材開発を兼ねた調査研究を実施。
- 助 言：地域開発に携わる政府機関、NGO、大学等の要請に基づき各種助言を行う。
- 地域ネットワークの確立：地域開発に関する情報交流のネットワークを確立。

■ 国連内の位置づけ



※2018年～ 所長として国交省から出向

国連機関など国際機関との強いパイプを生かして、日本と国際社会の繋ぐネットワークを構築するとともに、各国首脳や閣僚などが出席する国際会合を主催

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

国連を通じた国際社会への普及

日本の方針を
後押し

国連本部
経済社会局
(SDGs所管) 等

国連地域開発センター
(UNCRD)

直結

連携



アジア
各国・都市

建設省
交通省
環境省

国連機関や
国際協力機関
HABITAT、ESCAP
ASEAN、ADB、
JICA

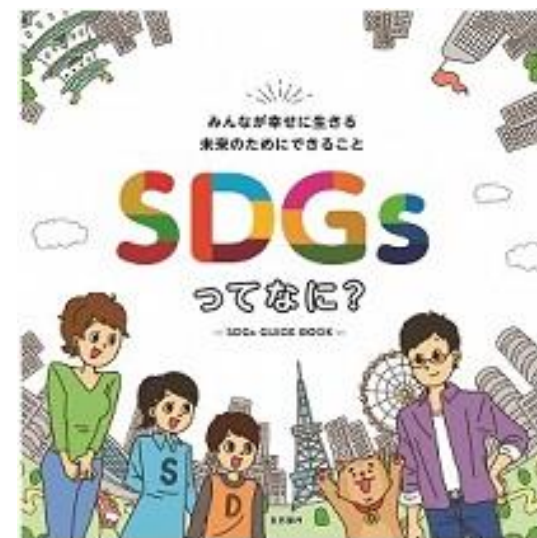
幅広いネットワークによる展開

- 国連本部での会合
 - ・国連ハイレベル政治会合(HLPF) (毎年)
←日本のSDGsモデルをアピール
 - ・交通・水・エネルギーなど国連セクター会合 (毎年)
←我が国の優れた技術の普及
- アジア地域での会合
 - ・UNESCAPやADBとの連携
←各国とのハイレベル対話 (年2、3回)
 - ・韓国にあるUNOSDとの連携
←世界首長との会合 (年1回)

SDGsの推進に向けた普及啓発事業

- UNCRD一般公開セミナー「地域で進めるSDGs」
- 自治体職員、学生向けSDGs研修・セミナー・授業
- 出版物等の監修を通じた広報支援

地元中部地域の方々にSDGsについての理解を深めていただき、地域における取組について考えて頂くことを目的に実施



水と災害に関するハイレベル会合

HELP: High-level Experts and Leaders Panel on Water and Disasters

水関連災害に対する各国の取組み強化、世界の意識啓発や各種提言・支援するために設置された国際パネル

議長：ハン・スンス 元韓国首相/元国連総会議長

副議長：マーク・ハーバース オランダインフラ・水管理大臣

バスキ・ハディムリオノ インドネシア公共事業・国民住宅大臣

メンバー：日本（国土交通省）、米国陸軍工兵隊、欧州委員会、UNDRR、UNESCO、UNESCAP、OECD、WB、ADB、JICA、アフリカ水大臣会議 他

- | | | |
|-----------|----------|--------------------------------|
| 第1回 | 2013年6月 | 東京（国土交通省） |
| 第2回 | 2013年12月 | フランス・パリ（OECD） |
| 第3回 | 2014年5月 | オランダ・ロッテルダム（オランダ政府） |
| 第4回 | 2014年10月 | アメリカ・ワシントン（米国陸軍工兵隊） |
| 第5回 | 2015年4月 | 韓国・ソウル（国土交通部） |
| 第6回 | 2015年11月 | アメリカ・ニューヨーク（国連本部） |
| 第7回 | 2016年5月 | オランダ・ロッテルダム（オランダ政府） |
| 第8回 | 2016年11月 | インドネシア・ジャカルタ（公共事業省） |
| 第9回 | 2017年5月 | 中国・成都（四川大学） |
| 第10回 | 2017年9月 | 韓国・慶州（国土交通部） |
| 第11回 | 2018年5月 | スイス・ジュネーブ（WMO/UNDRR） |
| 第12回 | 2018年11月 | 東京（国土交通省）併せて「水と災害に関する国際シンポジウム」 |
| 第13回 | 2019年6月 | アメリカ・ニューヨーク（国連本部） |
| 第14回 | 2019年11月 | を開催フランス・パリ（OECD韓国代表部） |
| 第15回～第17回 | | オンライン（Web）会議 |
| 第18回 | 2021年12月 | フランス・パリ |
| 第19回 | 2022年4月 | 熊本 |
| 第20回 | 2022年11月 | インドネシア・バリ |



G20においてスペシャルイベントを開催（2022年11月）

「水と文化」国際シンポジウム — 水の遺跡から地域の発展を考える —

International Symposium on Water and Culture
— Learning from Water Heritage to Innovate Regional Development —

日 時：2020年2月3日

会 場：東京 政策研究大学院大学（GRIPS）

主 催：水と災害に関するハイレベルパネル（HELP）、政策研究大学院大学（GRIPS）、国連地域開発センター（UNCRD）、国際記念物遺跡会議オランダ会議（ICOMOS Netherlands）

共 催：国土交通省（MLIT）

世界各国の水に関する遺跡、史跡、文書の事例共有などを通じ、水と人との関係や、水を通じた文明・文化の形成過程を深く知ることを狙いとして開催



UNCRD東京オフィス開所式



水と文化シンポジウムへ両陛下ご聴講

第4回アジア・太平洋水サミット —持続可能な発展のための水 実践と継承—

The 4th Asia-Pacific Water Summit

Water for Sustainable Development -Best Practices and the Next Generation-

日 時：2022年4月23日～24日

会 場：熊本県熊本市 熊本城ホール

主 催：アジア・太平洋水フォーラム、熊本市

アジア・太平洋地域の首脳級を含むハイレベルを対象とし、水問題に対する認識を深め、具体的な資源動員や行動を促すことを目的として、2007年から開催されている会合の第4回会合

UNCRDは島嶼国に関する特別ハイレベルセッションを担当

写真提供『日本水フォーラム』



天皇陛下によるおことば



各国首脳級参加による開会式

第9回洪水管理国際会議（ICFM9）開催記念
水と災害に関するハイレベルシンポジウム
“ポストコロナ時代の水循環管理”

High-level Symposium on
“Integrated Flood Management in the post-COVID-19 era”
at the 9th International Conference on Flood Management (ICFM9)

日 時：2023年2月18日

会 場：政策研究大学院大学（GRIPS）

主 催：水と災害に関するハイレベルパネル（HELP）、政策研究大学院大学（GRIPS）、国連地域開発センター（UNCRD）

シンポジウムでは世界のリーダーや専門家が水と災害に関する講演を行い、天皇陛下もご聴講された



シンポジウムをご聴講される天皇陛下



会場の様子